

## 「杉並区区民等の意見提出手続」の結果報告書

- 1 政策等の題名 杉並区子ども読書活動推進計画(平成28・29年度)
- 2 案の公表の日 平成28年3月1日
- 3 意見提出期間 平成28年3月1日から平成28年3月30日まで  
(30日間)
- 4 意見提出実績 総数6件(個人6件、団体0件)、延べ13項目  
提出種別:メール1件、区ホームページ5件
- 5 お寄せいただいたご意見と教育委員会の考え方  
別紙1のとおり
- 6 計画案の修正について  
お寄せいただいたご意見に基づく修正は、ありません。
- 7 問い合わせ先  
杉並区立中央図書館企画運営係  
電話 03-3391-5754

## 意見の概要と教育委員会の考え方

No.	意見の概要	教育委員会の考え方
1	図書館に来ることを待つよりも、移動図書館の推進やブックスタート事業の充実など、親子で本と触れ合う機会をより積極的に増やす方が効果的だと考える。	これからも図書館をより多くの方に利用していただくとともに、児童館などを含め、身近な場所で、親子で本に触れ合う機会を提供していきます。
2	区立子供園や小学校図書室を、平日夕方～夜間、及び土曜日に開けて、園児・児童と保護者に読書機会を提供すべきである。	子供園や学校図書館では、さまざまな機会を通して、在園児や児童、保護者の読書活動を支援しています。なお、開園(室)時間外の対応については、管理体制などの課題もあり困難と考えます。
3	図書館、小学校ともに、マンガや「マンガ系」児童書の購入はやめて、良書の購入に専念してほしい。	図書館では、多様な区民ニーズに応えるため、収集基準に基づき、ご指摘の図書を含め資料を選定・収集しています。今後とも、収集基準に基づき適切な資料収集を行い、図書館サービスの充実に努めていきます。
4	図書館は、いわゆる「ベストセラー小説」や「タレント本」の類の書籍ではなく、児童向け良書を優先して購入すべきである。	
5	子どもの読書活動推進はとても良い施策である。乳幼児健診の際のブックスタートなどで、よりよい本を子どもに読み聞かせることが出来ている。また、保育園では、区立図書館からきている絵本に触れることができ、感謝している。	ブックスタートは、絵本を通じて保護者とあかちゃんが楽しいひとときを過ごすことを支援する事業として実施しています。今後も、こうした事業や保育園・学校に対する団体貸出等を通じて、引き続き、子どもたちが多くの本に触れる機会を提供していきます。
6	計画の対象年齢は0～18歳とあるが、特に小学生に力を入れるべきである。 以前見た私立小学校の授業の中で、小学校1年生から3年生まで図書室でボランティアのおはなしを聞き、その後図書室で本の貸出をしていた。杉並区でもそのような授業を希望する。	これまでも、地域との協働でさまざまな読み聞かせなどを学校等において行ってきました。今後も、小学生をはじめ、子どもが読書に親しむ機会を創出する取組を進めていきます。
7	「杉並区こども読書活動の推進」という目標達成の視点から、もう少し的を絞った、現場感覚に基づく計画にしてほしい。	本計画(案)の策定に当たり、図書館内部はもとより、さまざまな方々のご意見を伺いながら計画化しています。計画改定後も、現場等の新しい発想や意見を活かしつつ、事業を実施していきます。
8	子どもが図書館に通い、読書の楽しさを知ることができるようにしてほしい。	子どもが自ら図書館に来て本に触れる機会が増えるよう、魅力ある事業の企画・実施に努めていきます。
9	「未読者率「ゼロ%」を目指す」という、目標の表現は、ネガティブであると思う。	本計画では、子どもが本と親しむことにより、豊かな人間性と社会性を育むことができるよう読書環境を整備し、子どもたちの読書習慣の育成を図るため、未読者率「ゼロ%」を目標として掲げました。今後も、計画目標を達成するよう、関連事業の着実な実施に取り組んでいきます。

10	外国語絵本を通じた外国籍の子どもと日本国籍の子どもの交流を促す企画を実施してほしい。	新規の取組項目である「子ども向け外国語図書の実施」を具体化する中で、地域の国際化や区内在住の外国籍の子どもの状況を踏まえ、関係機関と連携しながら、子ども同士の交流を促すなどの取組を検討していきます。
11	不要本の無料市（無料で持って行って良い）を図書館で企画する。古書ファンや、インテリアとして不要本を活用したい人など、普段図書館に来ない人が、図書館に触れる機会となる。	図書館では、図書館資料の有効活用を図るため、除籍した図書館資料を無償で提供するリサイクル事業を実施しており、今後も本事業の周知等に努めていきます。
12	「区民選書ツアー」を実施し、公募した小学生から高齢者までの多世代が、決められた予算内でほしい本を購入し、購入本の紹介文を作成する。この紹介文と本の写真を合わせて、Facebook やツイッターで定期配信する。	図書館資料の選定は杉並区立図書館資料管理要綱に基づき行っているため、ご提案内容の実施は困難であると考えます。なお、図書館では、子どもを対象に、お気に入りの本の帯広告を作成する「すぎなみ本の帯アイデア賞」や、図書館の図書等を使って興味を持ったことや疑問に感じたことを自ら調べ解決し、作品としてまとめる「杉並区図書館を使った調べる学習コンクール」等を行っております。今後も、こうした取組を通して、多様な世代の方々の読書に対する関心を高めていきます。
13	利用しやすい施設づくりとして、海外などの図書館の優良事例を収集し、図書館のあり方自体を再考してはどうか。	図書館では、「杉並区立図書館サービス基本方針」（平成 25 年策定）に掲げる図書館像の実現に向けて取り組んでおり、今後も、海外の情報を含む図書館関連情報の収集に努めながら、同基本方針の具現化を図っていきます。